

成果指標一覽

共通のまちづくり目標 住民に開かれ自立するまちづくり								
政策1 協働の仕組みの構築								
施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値	目標値	
						2017(H29)年	2023年	2028年
1 参画・協働	協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合	住民アンケート調査で「協働によるまちづくり」について「推進すべき」、「ある程度推進すべき」と回答した人の割合。2028年において80%、2023年はその中間値を目指す。	%	72.3 (2013(H25)年)	-	69.3	75.0	80.0
	月に1回以上地域活動に参加する人の割合	住民アンケート調査で「月に1回以上地域活動に参加した」と回答した人の割合。2028年において33%、2023年はその中間値を目指す。	%	25.2 (2013(H25)年)	-	24.9	29.0	33.0
2 広報・広聴・情報公開	町公式サイトへの年間アクセス件数	2028年において、現状値から概ね20%の増加、2023年はその中間値を目指す。	件	107,223 (2015(H27)年)	114,578 (2016(H28)年)	154,068	170,000	185,000
	町公式SNSのフォロワー数(累計)	2028年において、現状値から概ね3倍となる10,000アカウント、2023年はその中間値を目指す。現状値は「フェイスブック」のみ。2018(H30)年から「LINE@」を開始。	アカウント	2,363 (2015(H27)年)	2,964 (2016(H28)年)	3,374	7,000	10,000
	行政の透明性に関する満足度	住民アンケート調査で「行政の透明性」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合。2028年において40%、2023年は概ねその中間値を目指す。	%	12.2 (2013(H25)年)	-	20.4	31.0	40.0

政策2 お互いを尊重するまちづくり

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値	目標値	
						2017(H29)年	2023年	2028年
3 人権	人権学習懇談会の参加者数	3年間で町内を一巡する人権学習懇談会について、3年間の参加者数を2025～2027年は現状値の概ね1.5倍の500人、2020～2022年はその中間値を目指す。	人	-	336 (2012(H24)～2014(H26)年)	325 (2015(H27)～2017(H29)年)	420 (2020～2022年)	500 (2025～2027年)
	人権啓発・人権教育に関する重要度	住民アンケート調査で「人権啓発・人権教育」について「とても重要」、「ある程度重要」と回答した人の割合。2028年において50%、2023年はその中間値を目指す。	%	28.5 (2013(H25)年)	-	37.5	44.3	50.0
4 男女共同参画	25～44歳女性の就業率	2015年から2023年にかけて、2010年から2015年までの伸びを維持したうえで、2028年において80%を目指す。	%	62.4 (2010(H22)年)	-	67.8 (2015(H27)年)	77.0	80.0
	町が設置する審議会等における女性委員の割合	地方自治法第202条の3に基づいて設置する審議会等について、2028年において現状値(18審議会190人の委員のうち女性委員42人、22.1%)から、1年1ポイント以上増加させ、35%を目指す。2023年は概ねその中間値を目指す。	%	24.5 (2015(H27)年)	21.9 (2016(H28)年)	22.1	29.0	35.0

政策3 健全で効率的な行財政運営

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
5 行政サービスの提供	電子申請が可能なサービスにおける電子申請利用率（個人からの申請に係るもの）	2028年において50%、2023年はその中間値を目指す。	%	25.6 (2015(H27)年)	20.7 (2016(H28)年)	20.2	35.0	50.0
	人口に対するマイナンバーカード交付率	2028年において、2017(H29)年12月末の奈良県の運転免許証保有率の66%、2023年は概ねその中間値を目指す。	%	2.5 (2015(H27)年)	10.3 (2016(H28)年)	14.6	40.0	66.0
6 行政経営	行財政運営に関する満足度	住民アンケート調査で「行財政運営」について、「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合。2028年において35%、2023年はその中間値を目指す。	%	11.6 (2013(H25)年)	-	23.1	29.5	35.0
	経常収支比率	全国平均以下の水準を目指す。 (※2016(H28)年の全国平均・92.5%)	%	92.0 (2015(H27)年)	97.1 (2016(H28)年)	97.2	全国平均以下	
7 広域連携	市町村間の広域連携によって進めた事業数（累計）	「観光振興」「防災」「医療福祉」「その他公共施設の相互利用など」の4つの分野で概ね各2事業の広域連携を進め、2028年で18事業、2023年はその中間値を目指す。	事業	-	-	10	14	18

まちづくり目標1 快適で暮らしやすいまちづくり

政策4 都市基盤の充実

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
8 土地 利用	「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図るとしている生活利便施設数	「産婦人科を有し救急夜間診療が可能な総合病院（概ね200床以上）及び店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗」について、奈良県西和医療センターの王寺駅周辺への移転も視野に、2028年において4施設、2023年は3施設を目指す。	施設	2 (2015(H27)年)	2 (2016(H28)年)	2	3	4
	町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合	王寺町都市計画マスタープランにおける東部地域（本町、畠田地区及び葛下地区の一部）の市街化調整区域において都市的に利用されている土地の割合。2028年までに畠田1丁目、2丁目地区の市街化調整区域において商業施設や事務所の誘致を図ることにより、町東部地域の市街化調整区域全体の51.0%を都市的な土地利用に供することを旨とする。	%	12.0 (2015(H27)年)	12.0 (2016(H28)年)	12.0	12.0	51.0
9 住宅 環境	外観調査等から特に問題となる可能性のある戸建て空き家の数	住生活基本計画（全国計画）の推計に準拠し、10年間で町内の空き家戸数の伸びを1.57倍と見込んだうえで、問題となる可能性のある空き家数の20%抑制を図る。2028年・423戸の予測を338戸、2023年・347戸の予測を277戸とすることを旨とする。	戸	293 (2016(H28)年)	259 (2017(H29)年)	270 (2018(H30)年)	277	338
	町が実施する耐震改修補助利用件数（累計）	1年当たり3件の利用を目指す（2028年・38件、2023年・23件の利用）。	件	0 (2015(H27)年)	2 (2016(H28)年)	5	23	38
10 上下 水道	管の直径250mm以上の基幹配水管路の耐震化率	王寺町管路更新計画に基づき、2028年において30.8%、2023年において概ね中間値である20.2%を目指す。	%	4.4 (2015(H27)年)	6.6 (2016(H28)年)	7.8	20.3	30.8
	下水道水洗化率	下水道整備区域内において30世帯/年(60人/年)の下水道接続によって、2028年に97.1%の下水道水洗化率を目指し、2023年はその中間値を目指す。	%	94.4 (2015(H27)年)	94.9 (2016(H28)年)	95.3	96.3	97.1

政策5 交通ネットワークの整備

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
11 道路	都市計画道路の整備率	国道25号、168号の整備の進捗により2028年・82.0%を目指す。	%	59.0 (2015(H27)年)	61.0 (2016(H28)年)	72.0	78.0	82.0
	生活道路の整備に関する満足度	住民アンケート調査で「生活道路の整備」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合。2028年において40%、2023年はその中間値を目指す。	%	21.5 (2013(H25)年)	-	27.2	34.0	40.0
12 公共交通	公共交通の整備に関する満足度	住民アンケート調査で「公共交通の整備」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合。2028年において60%、2023年は概ねその中間値を目指す。	%	24.1 (2013(H25)年)	-	47.5	55.0	60.0
	関西国際空港からの1日当たり直通バス路線便数	直通バスの開設と、2028年・5便/日の運行を目指す。	便	0 (2015(H27)年)	0 (2016(H28)年)	0	2	5

政策6 環境への配慮								
施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
13 環境保全	C C C活動参加 団体数	2028年において、1つの自治会当たり概ね2団体の登録を目指し、2023年はその中間値を目指す。	団体	83 (2015(H27)年)	81 (2016(H28)年)	83	92	100
	クリーン キャンペーン 1回当たりの 産業廃棄物 発生量	年間4回実施のクリーンキャンペーンにおいて発生する産業廃棄物について、2015(H27)から2017(H29)の平均値(18.9t)の約20%を削減し、2028年に1回当たり15.0t(年間60.0t)に抑えることを目指す。2023年は概ねその中間値を目指す。	t	19.0 (2015(H27)年)	16.7 (2016(H28)年)	21.0	17.7	15.0
14 循環型社会	一般家庭における 1人1日当たりの ごみ排出量	奈良県廃棄物処理計画に準拠し、8年間で12%のごみ排出抑制を目指す(2023年は2015年の88%の水準、2028年は2020年の88%の水準)。	g	748 (2015(H27)年)	747 (2016(H28)年)	730	659	611
	ごみの リサイクル率	2023年において奈良県廃棄物処理計画における2022年度目標(23.0%)を目指し、2028年において、現状値の概ね2倍を目指す。	%	14.2 (2015(H27)年)	14.4 (2016(H28)年)	14.0	23.0	30.0
政策7 水と緑の保全と創出								
15 都市景観	都市景観に関する 満足度	住民アンケート調査で「都市景観」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。2028年において30%、2023年はその中間値を目指す。	%	11.9 (2013(H25)年)	-	20.0	25.0	30.0
	国道168号の 無電柱化延長 (総延長2.29km)	国道168号の整備の進捗に合わせ、2028年・2.29km(進捗率100%)、2023年・0.83km(進捗率36.2%)の無電柱化を図る。	km (進 捗 率)	0.00 (0.0%) (2015(H27)年)	0.00 (0.0%) (2016(H28)年)	0.00 (0.0%)	0.83 (36.2%)	2.29 (100.0%)

まちづくり目標2 安全で安心して暮らせるまちづくり

政策8 地域防災の充実

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
16 防災 体制	防災訓練を実施している自主防災組織の数	2023年までに全ての自治会で自主防災組織が設立されたうえで、毎年全ての自主防災組織で防災訓練が実施され、以後継続的に行っていくことを目指す。	団体	23 (2015(H27)年)	8 (2016(H28)年)	8	53	53
	「王寺町安全・安心メール」及び「LINE@王寺町公式アカウント(2018(H30)年度から開始)」登録者数	2023年において、20歳～75歳人口の概ね半数の登録を目指し、2028年は概ね全ての世帯数の登録を目指す。	人	1,697 (2015(H27)年)	2,533 (2016(H28)年)	2,890	8,200	10,000
17 避難 行動 支援	「個別計画」を作成した団体数(累計)	2023年までに全ての自治会において個別計画が作成されることを目指す。	団体	0 (2015(H27)年)	0 (2016(H28)年)	0	53	53
18 消防 ・ 救急 体制	王寺町消防団の定員(130人)に対する充足率	2023年までに王寺町消防団の定員(130人)に対する充足率を100%にしたうえで、2028年はその数値を維持することを目指す。	%	94.6 (2015(H27)年)	97.7 (2016(H28)年)	96.9	100.0	100.0
	救命講習会の年間受講者数	2023年までに毎年年間1,000人が受講することを目指す。	人	590 (2015(H27)年)	877 (2016(H28)年)	365	1,000	1,000

政策9 日常生活の安全確保

19 防犯 ・ 交通 安全	刑法犯年間認知件数(延べ)	2028年において、2015(H27)から2017(H29)の平均値(163件)から30%削減することを目指す。2023年は、同10%削減することを目指す。	件	165 (2015(H27)年)	168 (2016(H28)年)	155	147	114
	町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合	2028年において、2017(H29)における県平均(35.6%)の水準を約5%下回ることを目指し、2023年は概ね県平均の水準を目指す。	%	44.9 (2015(H27)年)	43.6 (2016(H28)年)	43.7	35.0	30.0

まちづくり目標3 健やかに暮らせるまちづくり								
政策10 高齢者支援の充実								
施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
20 高齢者福祉	「健康寿命(65歳の平均自立期間)」の県内市町村における順位	男女ともに2023年で奈良県1位を目指したうえで、2028年はそれを維持することを目指す。 (※2015(H27)年の奈良県の健康寿命全国順位…男性3位、女性28位)	男性・位	11 (18.48年) (2015(H27)年)	-	-	1	1
			女性・位	27 (20.11年) (2015(H27)年)	-	-	1	1
	65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合	2028年においてその年の国全体の予測(14.0%)を2%下回ることを目指し、2023年は概ねその中間値を目指す。	%	8.8 (2015(H27)年)	8.8 (2016(H28)年)	9.4	10.5	12.0
21 介護保険	各種介護予防教室の年間受講者数(延べ)	介護予防のため実施している各種教室等(認知症・介護予防出前講座、特別養護老人ホームの地域交流スペースを利用した体操教室等)の年間延べ参加者数を2028年に7,000人、2023年には4,000人とすることを目指す。	人	1,973 (2015(H27)年)	1,898 (2016(H28)年)	2,270	4,000	7,000
	65歳以上(介護保険第1号被保険者)の要支援・要介護認定者の割合	「第7期王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の2025年予測値(21.6%)を2028年において維持することを目指す。	%	17.8 (2015(H27)年)	18.4 (2016(H28)年)	18.0	20.4	21.6
政策11 障害者支援の充実								
22 障害者福祉	福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数	2028年において現状値の2倍を超える水準を目指し、2023年においては2倍の水準を目指す。	人	4 (2015(H27)年)	3 (2016(H28)年)	2	4	5
	手話奉仕員登録者数	手話奉仕員(2年履修・定員20名)養成講座において毎年定員が履修し、全員がボランティアとして登録することを目指す。(※2017(H29)年から講座を開設)	人	-	-	18	80	120

政策12 健康づくりの推進

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
23 健康づくり	「健康寿命(65歳の平均自立期間)」の県内市町村における順位【施策20再掲】	男女ともに2023年で奈良県1位を目指したうえで、2028年はそれを維持することを目指す。 (※2015(H27)年の奈良県の健康寿命全国順位…男性3位、女性28位)	男性・位	11 (18.48年) (2015(H27)年)	-	-	1	1
			女性・位	27 (20.11年) (2015(H27)年)	-	-	1	1
	1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合	2028年において、国の「健康日本21(第二次)」における目標値(男36.0%、女33.0%)を上回り、男女とも40.0%以上とすることを目指す。	男性・%	12.4 (2015(H27)年)	-	-	29.4	40.0
			女性・%	13.3 (2015(H27)年)	-	-	29.7	40.0
	「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数(延べ)	2028年にかけて、毎年100人の増加を目指す。	人	2,588 (2015(H27)年)	2,703 (2016(H28)年)	2,919	3,600	4,100
	がん検診の受診率	2028年において、国の「第3期がん対策推進基本計画」の目標数値(50%)を目指す。	胃・%	6.8 (2015(H27)年)	10.1 (2016(H28)年)	10.3	32.0	50.0
			肺・%	14.3 (2015(H27)年)	10.7 (2016(H28)年)	11.6	32.5	
			大腸・%	19.6 (2015(H27)年)	16.5 (2016(H28)年)	17.8	35.4	
			子宮・%	23.7 (2015(H27)年)	17.0 (2016(H28)年)	16.6	34.8	
			乳・%	26.8 (2015(H27)年)	22.4 (2016(H28)年)	23.1	37.8	

政策 1 3 地域で支え合うまちづくり

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
24 地域福祉	サロンの箇所数	2028年において、概ね1自治会につき1箇所のサロンが開催されることを目指し、2023年はその中間値を目指す。	箇所	3 (2015(H27)年)	5 (2016(H28)年)	13	30	50
	手話奉仕員・介護ボランティア登録者数	手話奉仕員(2年履修・定員20名)、介護ボランティア(1年履修・定員30名)養成講座において毎年定員が履修し、全員がボランティアとして登録することを目指す。 (※2017(H29)年から講座を開設)	人	-	-	18	230	420
25 国民健康保険	国民健康保険被保険者の年間1人当たり医療費	年間1人当たり医療費が1年で4.41%伸びる見込みのところを「奈良県国民健康保険運営方針」に準拠し、1年で2.54%の伸びに抑制することを目指す。	円	383,942 (2015(H27)年)	400,961 (2016(H28)年)	405,827	465,047	519,215
	国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率	2023年において国の「特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針」における市町村国民健康保険の目標値(60.0%)を目指し、2028年には、全医療保険者の目標値(70.0%)を目指す。	%	39.2 (2015(H27)年)	39.6 (2016(H28)年)	40.1	60.0	70.0

まちづくり目標4 人を育みみんなが学べるまちづくり

政策14 子ども・子育て支援の充実

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
26 保育環境	保育園入所待機児童数	現状値の0人を維持する。	人	0 (2015(H27)年)	0 (2016(H28)年)	0	0	0
	保育サービスに関する満足度	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査で「保育サービス全般」について、「満足している」と回答した人の割合。保護者の半数が満足と感じることを目指し、2023年はその中間値を目指す。	%	30.1 (2013(H25)年)	-	-	43.0	50.0
27 子育て支援	すくすく広場の年間利用者数(延べ)	王寺町人口ビジョンにおける合計特殊出生率の推移に合わせ、2028年において22,000人を目指し、2023年はその中間値を目指す。	人	13,922 (2015(H27)年)	16,233 (2016(H28)年)	18,936	20,500	22,000
	子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」、「ない」と答えた保護者の割合	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査で、子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」、「ない」と回答した人の割合。限りなく0に近づけることを目指す。	就学前児童を持つ親・% 小学生児童を持つ親・%	7.3 (2013(H25)年)	-	-	限りなく0に近づける	
28 母子保健	王寺町で子育てをしたいと思う親の割合	健診時の問診で回答した人の割合。 4カ月児の親について、2028年において第4次王寺町母子保健計画における目標値(2027年・98.0%)を維持すること目指し、2023年はその中間値を目指す。 3歳6カ月児の親について、2023年、2028年において上記計画の目標値(2027年・98.0%)を上回り、限りなく100%に近づけることを目指す。	4カ月児の親・%	96.2 (2015(H27)年)	95.6 (2016(H28)年)	95.0	96.6	98.0
			3歳6カ月児の親・%	95.0 (2015(H27)年)	97.2 (2016(H28)年)	98.7	限りなく100%に近づける	
	夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合	健診時の問診で回答した人の割合。 2028年において第4次王寺町母子保健計画における目標値(2027年・90.0%)を維持すること目指し、2023年はその中間値を目指す。	%	80.1 (2015(H27)年)	85.0 (2016(H28)年)	82.1	86.4	90.0

政策 1 5 学校教育の充実

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
29 就 学 前 教 育	町立幼稚園保護者アンケートで、「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合	保護者アンケートで、「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」という設問に「そう思う」と回答した人の割合。2023年、2028年とも100%を目指す。	%	86.1 (2015(H27)年)	88.4 (2016(H28)年)	85.9	100.0	100.0
	町立幼稚園保護者アンケートで、「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合	保護者アンケートで、「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」という設問に「そう思う」、「どちらかというと思う」と回答した人の割合。2023年、2028年とも100%を目指す。	%	-	85.1 (2016(H28)年)	90.7	100.0	100.0
30 学 校 教 育	[知] 中学3年生を対象に実施される「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	国語A・%	78.4 (全国1位 80.8) (2015(H27)年)	78.8 (全国1位 79.1) (2016(H28)年)	80.0 (全国1位 82.0)	王寺町における各教科の平均正答率が平均正答率全国1位の都道府県の値を上回る		
		国語B・%	67.5 (全国1位 70.7) (2015(H27)年)	69.9 (全国1位 72.4) (2016(H28)年)	73.0 (全国1位 78.0)			
		数学A・%	66.3 (全国1位 71.1) (2015(H27)年)	66.6 (全国1位 69.3) (2016(H28)年)	67.0 (全国1位 73.0)			
		数学B・%	45.0 (全国1位 47.7) (2015(H27)年)	48.8 (全国1位 50.8) (2016(H28)年)	53.0 (全国1位 54.0)			
	[徳] 中学3年生を対象に実施される「全国学力・学習状況調査」における「規範意識」を問う設問（・あなたは学校の規則を守っていますか・いじめはどんな理由があってもいけない・人の役に立つ人間になりたい）で、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合	%	94.2 (2015(H27)年)	92.4 (2016(H28)年)	93.8	97.2	100.0	
[体] 中学2年生を対象に実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における平均点	男子・点	44.27 (全国1位 45.48) (2015(H27)年)	42.62 (全国1位 45.60) (2016(H28)年)	45.33 (全国1位 45.89)	王寺町における平均点が平均点全国1位の都道府県の値を上回る			
女子・点	53.88 (全国1位 53.72) (2015(H27)年)	55.83 (全国1位 53.94) (2016(H28)年)	55.39 (全国1位 54.28)					

政策 1 6 生涯学習の充実

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値	目標値	
						2017(H29)年	2023年	2028年
31 生涯学習	生涯学習施設の 利用者数	公民館、やわらぎ会館の利用者数と地域交流センターにおける生涯学習事業の利用者数について、2028年において現状値から20%の増を目指し、2023年において現状値から10%の増を目指す。	人	104,342 (2015(H27)年)	100,906 (2016(H28)年)	104,149	115,000	125,000
	図書館利用者1人 当たりの貸出冊数	2028年において現状値から倍増を目指し、2023年は概ねその中間値を目指す。	冊	6.9 (2015(H27)年)	6.9 (2016(H28)年)	7.0	11.0	15.0
32 青少年健全育成	青少年リーダー (中高生)の 登録者数	青少年リーダーとして登録している中高生を毎年1人以上増加させることで、2028年までに20人を目指し、2023年はその中間値を目指す。	人	-	-	8 (2018(H30)年)	14	20
	地域の行事に参加 している小学生、 中学生の割合	全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学生、中学生の割合。 2028年において小学生100%、中学生90%、2023年において小学生90%、中学生80%を目指す。	小学生・ % 中学生・ %	87.0 (2015(H27)年)	73.8 (2016(H28)年)	73.8	90.0	100.0
				48.8 (2015(H27)年)	58.6 (2016(H28)年)	53.4	80.0	90.0

政策17 歴史文化・スポーツ活動の振興

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値	目標値	
						2017(H29)年	2023年	2028年
33 文化財	国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数	2028年までに新たに8件の指定を目指し、2023年はその中間値を目指す。	件	-	-	20 (2018(H30)年)	24	28
	観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数	2028年において、現状値(2017(H29)年)の概ね倍増を目指し、2023年はその中間値を目指す。	人	2,878 (2015(H27)年)	2,789 (2016(H28)年)	4,618	7,500	10,000
34 文化・芸術活動	町主催の文化事業の来場者数	2028年において、現状値から200人の増加を目指し、2023年はその中間値を目指す。	人	4,153 (2015(H27)年)	4,383 (2016(H28)年)	4,800	4,900	5,000
	ムジークフェストならin王寺への来場者数	2023年において、ムジークフェストならに参加する町主催の屋外イベントの充実により、観覧可能な最大人数の来場を目指し、それに加え2028年において、民間主催イベントの増加による来場者数の増加を目指す。	人	520 (2015(H27)年)	510 (2016(H28)年)	666	1,050	1,250
35 スポーツ・レクリエーション	「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラス」の年間参加者数(延べ) 【施策23再掲】	2028年にかけて、毎年100人の増加を目指す。	人	2,588 (2015(H27)年)	2,703 (2016(H28)年)	2,919	3,600	4,100
	町内体育施設の年間利用者数(延べ)	2028年において、現状値から20%の増加を目指し、2023年は概ねその中間値を目指す。	人	241,878 (2015(H27)年)	274,874 (2016(H28)年)	282,210	310,000	340,000

まちづくり目標5 活力とにぎわいのあるまちづくり

政策18 活力の創出

施策	成果指標	成果指標の内容	単位	実績値		現状値 2017(H29)年	目標値	
							2023年	2028年
36 産業・雇用	町内の事業所数	実績値の伸び(2年で5事業所の増加)を維持し、2028年に887事業所、2023年はその中間値を目指す。	事業所	852 (2014(H26)年)	857 (2016(H28)年)	-	874	887
	町内事業所の従業者数	年間30人の増加を目指し、2028年に8,230人、2023年は概ねその中間値を目指す。	人	7,480 (2014(H26)年)	7,861 (2016(H28)年)	-	8,100	8,230
37 定住促進	王寺町に住み続けたいと思う人の割合	住民アンケート調査で「今後も王寺町にずっと住む」と回答した人の割合。2028年において、65.0%を目指し、2023年はその中間値を目指す。	%	48.1 (2013(H25)年)	-	54.9	60.0	65.0

政策19 交流の促進

38 観光・交流	町の観光入込客数	2028年において、現状値(中止された王寺ミルキーウェイが開催されたと仮定した数値の30,000人)から倍増を目指し、2023年は概ねその中間値を目指す。	人	31,488 (2015(H27)年)	27,395 (2016(H28)年)	11,184	46,000	60,000
	王寺町周辺 宿泊者数 (王寺町・平群町・三郷町・斑鳩町にある宿泊施設の年間延べ宿泊者数)	2020年に王寺町で、2019年に斑鳩町で開業予定の宿泊施設に加え、王寺町内で更に1件の宿泊施設の開業を想定し、かつ施設定員の80%の年間稼働率を目指す。また、既存宿泊施設の宿泊者数の20%増を目指す。	人	21,355 (2015(H27)年)	18,998 (2016(H28)年)	-	162,000	164,000